

谷口泰富教授の足跡

Professor Yasutomi Taniguchi's brief curriculum vitae and works

略 歴

- 1971年 宮崎大学 教育学部卒業
- 1977年 駒澤大学大学院人文科学研究科・心理学専攻博士課程満期退学
- 1979年 駒澤大学文学部 助手
- 1981年 駒澤大学文学部 講師
- 1985年 駒澤大学文学部 助教授
- 1991年 駒澤大学文学部 教授
- 1996年 博士(心理学)(駒澤大学)

学会における活動

- 日本応用心理学会(常任理事)
- 日本心理学会(監事・評議員)
- 日本生理心理学会(評議員)
- 日本行動分析学会
- 日本応健康心理学会
- 日本犯罪心理学会
- 九州心理学会

学内運営活動

- 心理学科主任(2001/04-2003/03)
- 大学院心理学専攻主任(2003/04-2007/03)
- 全学教授会委員(2009/04-2013/03)
- 文学部長(2013/04-2017/03)

研究業績一覧

学術論文, 著書の主要なものを年代順に記載。ただし, 国内外の特別講演・招待講演・シンポジウム・ワークショップ・一般発表などについては省略。

1. 論文(学術論文)

- 谷口泰富 1978. 坐禅における守意と捨意に関する研究 駒澤社会学研究, **10**, 49-75.
- 武井広平・谷口泰富・尾崎行生 1982. 心身の有意的統御に関する精神生理学的研究2 - 坐禅時の体表面温度分布の変化について - 駒澤社会学研究, **14**, 61-71.
- 谷口泰富・篠原英寿・安藤末廣 1984. 瞑想に関する心理学的研究(I) 駒澤社会学研究, **16**, 100-125.

- 谷口泰富・篠原英壽・安藤末廣・中丸 茂・牧野 晋 1985. 瞑想に関する心理学的研究 (Ⅱ) 駒澤社会学研究, **17**, 90-107.
- 萩野源一・中村昭之・篠原英壽・谷口泰富・中丸 茂 瞑想に関する心理学的研究 (第1報) 1987 駒澤大学文学部紀要, 第45号, 173-251.
- 谷口泰富・東海林 義信・中丸 茂 1988. ビジランス・パフォーマンスとBGM 駒澤社会学研究, **20**, 63-77.
- 萩野源一・中村昭之・篠原英壽・谷口泰富・中丸 茂 瞑想に関する心理学的研究 (第2報) 1989. 駒澤大学文学部紀要, 第47号, 74-96.
- 谷口泰富・中丸 茂・東海林 義信・迎 隆 1989. 心的作業におけるPerformanceの変動と生理学的指標との対応 駒澤社会学研究, **21**, 23-34.
- 谷口泰富・中丸 茂・牧野 晋・軽部幸浩 1990. 脳波にみられる個人差および恒常性 駒澤社会学研究, **22**, 43-62.
- 萩野源一・中村昭之・篠原英壽・谷口泰富・中丸 茂 瞑想に関する心理学的研究 (第3報) 1992. 駒澤社会学研究, 第24号, 41-67.
- 谷口泰富 1992. 禅瞑想の生理心理学的検討 心理学評論, **35**, 71-93.
- Yasutomi Taniguchi An Overview: Psychophysiological Approach to Meditation in Japan. 1992 *Japanese Health Psychology*. Vol.1. No.1. 45-50.
- 谷口泰富・加藤博己・軽部幸浩・堀内正彦 1999. Student apathy に関する心理学的研究 駒澤大学心理学論集, **1**, 63-70.
- 山本亮文・谷口泰富 2000. 生体リズムと精神作業 駒澤大学心理学論集, **2**, 35-42.
- 名取志保・谷口泰富 2003. 虚偽検出場面における瞬目反応 駒澤大学心理学論集, **5**, 27-32.
- 古賀義亮・軽部幸浩・谷口泰富 2005. 脳波の時間周波数解析システムの開発とその解析結果 **7**, 17-24.
- 古賀義亮・軽部幸浩・谷口泰富 2005. 時間周波数脳波解析システムによるベータ波の解析 **8**, 13-16.
- 谷口泰富・小野洋平・石岡綾香・軽部幸浩 2011. 虚偽検出に関する基礎的研究 駒澤大学心理学論集, **13**, 1-9.
- 谷口泰富・小野洋平 2013. 虚偽検出検査における眼球運動の非接触的測定 心理学研究, 瞑想に関する心理学的研究 1995. 駒澤社会学研究, 第27号, 39-51.
- Yohei, O., & Yasutomi, T. (2017). Attentional capture by emotional stimuli: Manipulation of emotional valence by the sample pre-rating method. *Japanese Psychological Research*, **59**, 26-34.

2. 著書

- Psychology of Zen II 1977 Komazawa Univ. (共著)
- 心理テストの解説 1978 (株)プリントセンター (共著)
- 障害児臨床と発達援助 1980 協同出版 (共著)
- 心理学概説 1982 八千代出版 (共著)
- 心理学 ——人間理解と援助的接近—— 1984 北大路書房 (共著)
- 入門人格心理学 1989 八千代出版 (共著)
- 臨床援助の心理学 1989 北大路書房 (共著)
- 心理学基礎用語集 1990 八千代出版 (共著)
- 現代のエスプリ 1993 至文堂 (共著)
- ウソ発見 2000 北大路書房 (共著)
- 科学的虚偽検出の最前線 2004 多賀出版 (共著)
- 応用心理学辞典 2007 丸善 (共著)

クローズアップ『犯罪』 2013 福村出版（共著）
クローズアップ『恋愛』 2013 福村出版（共著）
心理学 2014 新曜社（共著）